

令和元年度文京区障害者地域自立支援協議会 地域生活支援専門部会検討内容

<実施状況>

- 第 1 回（令和元年 6 月 28 日）…本富士地区地域生活支援拠点整備状況について、
地域課題の意見交換について
- 第 2 回（令和元年 9 月 20 日）…本富士地区の地域課題事例について、
地域生活支援拠点に求めることについて

<内容総括>

(1) 本富士地区地域生活支援拠点の整備状況について【報告】

①名称・開設日・住所等

- ・名 称：本富士生活あんしん拠点（本富士地区地域生活支援拠点）
- ・住 所：文京区本郷 2 丁目 21 番 3 号 青木ビル 1 階
- ・開 設 日：令和元年 10 月 1 日
(窓口開設時間…平日午前 10 時から午後 5 時 30 分)
- ・運営事業者：（社会福祉法人）本郷の森

②地域連携調整員の研修

拠点に配置する地域連携調整員（2 名）が、3 障害に対応した相談ケース対応や地域の社会資源との連携体制の構築のため、4 月～9 月の間、関係機関において実施した研修を受講。

③地域への周知

町会長及び役員会において挨拶と事業説明を実施。
区報（10/10 号）及びホームページに掲載、チラシ作成。

(2) 地域生活支援拠点の整備を進める上での検討事項等【意見交換】

- ①住民との接点を持ち、障害者理解を地域の中に広げていけると良い。
- ②地域の中に入り込む仕組みや、障害の有無に関わらず様々な人が集まる場にとできると良い。
- ③高齢者あんしん相談センターで対応している家族について、拠点も一緒に支援に入る仕組みができていくと良い。
- ④8050 問題や若年性認知症など分野をまたがる多問題になった場合、スムーズにお互いの担当を役割分担できずにタイミングを逃し困難化することがある。問題が顕在化する前に情報共有等の連携ができると良い。
- ⑤障害者基幹相談支援センターで対応している中で、本富士地区のケースについては優先順位を付けながら拠点で対応する形を取れると良い。
- ⑥相談が減ることは無く、1.5 人の体制で不足することは目に見えており、いつまでこの人数で持ちこたえられるのか危惧している。
- ⑦住宅の確保について、要配慮者への拒まない住宅が必要であるが、高齢者だと孤独死、障害だと一人であることによってトラブルのリスクについて危惧があり、現状ではなかなか進んでいない。地域の理解を進めていく取組みが必要。
- ⑧相談件数等の統計について、拠点で統一のフォーマットが必要。

- ⑨相談の数だけではなく、どのようなつなぎ方をしたのかとか、地域とどういう関係づくりをしたのかというところも示していけると良い。
- ⑩実績では事例も求められるため、例えば、8050 問題について高齢者あんしん相談センター等と一緒にアウトリーチをする等、一緒にケースに取り組むことが1年目は重要ではないか。

(3) 本富士地区における地域課題事例【報告】

[①高齢者あんしん相談センター本富士・中谷委員から報告]

- ・高齢者の中には精神疾患を持ちながら生活している方もいるが、介護保険の判定が出にくい中で生きづらさを感じている方もいる。
- ・生活実態の把握が難しいマンション住民がどんどん増えていく中で地域の支援を進めていくには、個人情報共有についてカベがある。
- ・身寄りのない独居の方が埋もれがちで、早期発見が困難な部分がある。
- ・高齢者の家族支援アプローチの構築ということで、お子さんが障害をお持ちの場合など、相談窓口の連携の必要があるが、その難しさがある。
- ・本富士地区は、唯一 B-ぐるが走っていないなど交通網が不便なところ（特に住宅街の西方の方）があり、ひきこもりの方が結構いるのではないか。

[②社会福祉協議会の浦田副部長から報告]

- ・地域活動が盛んになってきており、西片には、外国人の子の学習支援や子育て世代の子ども広場のような活動をやっているという話がある。
- ・弥生には、1階部分の部屋を開放して、近くの高齢者施設とタイアップしてコミュニティカフェをやろうか、といった話もある。
- ・一番新しいケースでは、不登校のお子さんのための居場所づくりを行う NPO が出ている。
- ・本富士地区では、外国人の相談が増えており、中には障害がある方もいて、学習支援の立ち上げを行っている。誠之小や本郷小で外国のお子さんが増えていて、親は日本語を話せても子どもは話せないケースも多く、学校からの相談も出てきている。障害ということではないが、異なる文化の方と地域で一緒に住み続けることについても考えていかなければならない。
- ・本富士地区では、住民にボランティア的な活動がそれほど根付いていないこともあり、呼びかけてもなかなか人が集まらないということで、今後どのようにネットワークを広げていくか、といったことが課題。